

週間漁海況情報 2021年第31号

令和3年8月10日発行

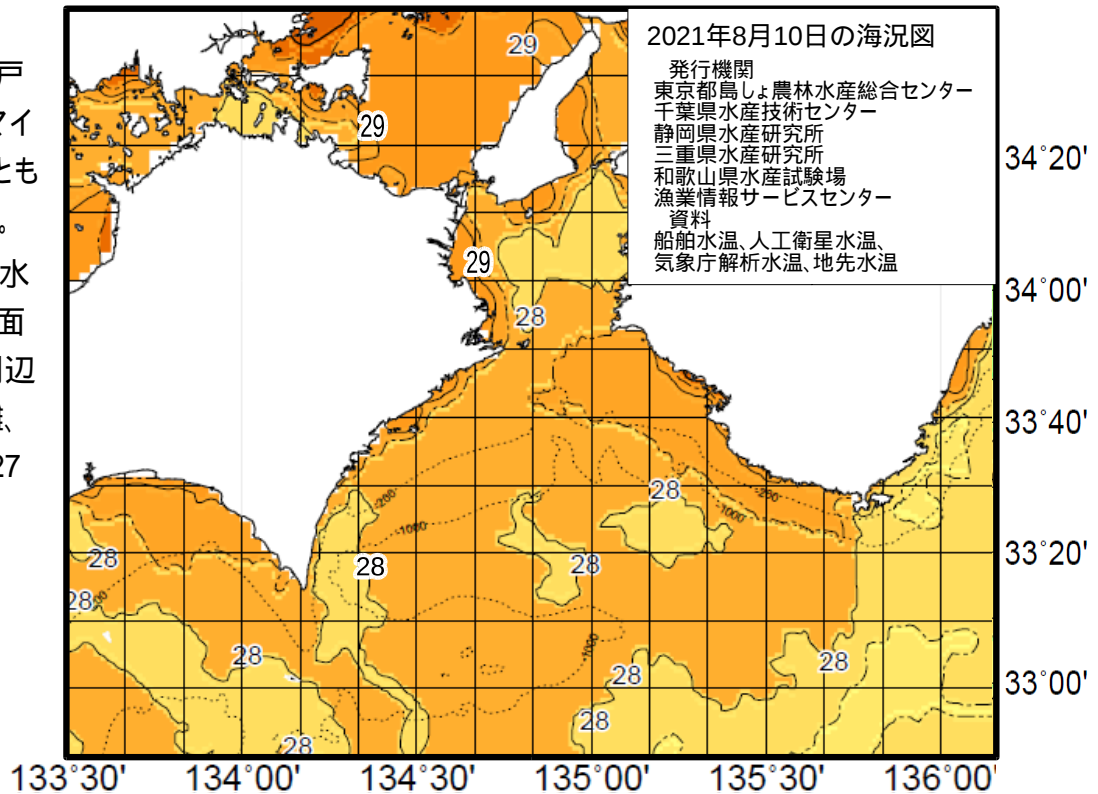
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖66マイル、潮岬沖108マイルを流れ、室戸岬、潮岬沖ともに「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部海域への暖水波及がみられる。黒潮の表面水温は27～29 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道、海部沿岸ともに27～29 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

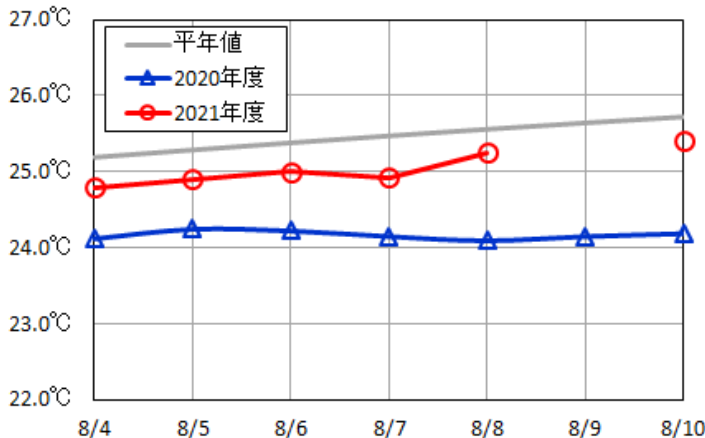
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

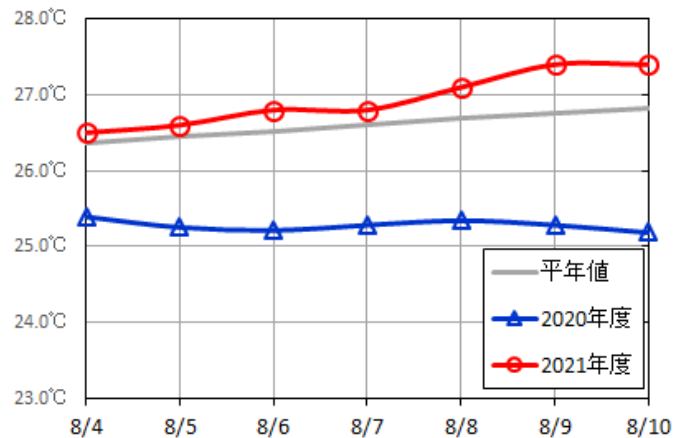
2. 地先水温(2021年8月4日～8月10日)

鳴門地区の水温は24.8～25.4 で「やや低め」から「平年並み」、日和佐地区は26.5～27.4 で「平年並み」から「やや高め」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は1.7～2.0 になった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月11日～8月17日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」から「著しく離岸」で、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」に、日和佐地区は「平年並み」から「やや高め」に推移する見込み。

漁況 (8月2日～8月8日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが262.5ト水揚げされた。

延縄では、ハモが減って中主体に4.9ト、タチウオが特大主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて小小主体に1.1ト、イサキが減って大主体に0.4ト、カンパチが0.3ト、マサバが大きく減って大主体に0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが減って中主体に13ト、マダイが増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、キダイが減って大主体に0.5ト、アカムツが減って0.3ト、あまだい類が0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、マサバが大きく増えて5.1ト、カンパチが大きく増えて0.9ト、マアジが減って小小主体に0.6ト、ウルメイワシが減って0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	125	シラス	262,500	2,100		→
	延縄	47	ハモ	4,911	104	中主体	
		45	タチウオ	346	8	特大主体	→
	小型定置網	21	マアジ	1,066	51	小小主体	
		14	イサキ	352	25	大主体	
		16	カンパチ	283	18		→
		11	マサバ	245	22	大主体	
	底びき網	36	ハモ	12,951	360	中主体	
		17	マダイ	205	12	大主体	
	海部沿岸	延縄	15	キダイ	463	31	大主体
17			アカムツ	290	17		
22			あまだい類	213	10		→
小型定置網		11	マサバ	5,087	462		
		18	カンパチ	923	51		
		21	マアジ	580	28	小小主体	
		4	ウルメイワシ	415	104		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: